

こんにちは 健保組合です！

東栄運送
の巻 vol. 12

事業所訪問の第一二回目としてお邪魔したのは、千葉市の中心、中央区に所在する東栄運送有限公司でした。

カレンダーも最後の一枚となった十二月三日、小春日和の暖かな日差しの中、私たちは今日の目的地に車を走らせました。千葉市は、ご存じのとおり平成四年から政令指定都市に移行し、市の中心も大きく様変わりしようとしています。『古くて新しい街』そんなコビーが合いそうなこの街の中央区神明町に本日、目指す事業所がありました。

東栄運送有限公司は、神明社のすぐ目の前にありました（後にお聞きした話ですがこの神明社は、獅子頭を御神体として奉った社とか…）。

● 大きな猫が 社内を悠々と闊歩……

車を降りて事務所内にお邪魔する

とこの話題を締めくくられました。

さらに、会話は職員教育について移行し、氏は交通安全協会の寒川支部長を務めておられます。常々書くことですが公道を職場としているこの業界において交通安全義務遵守ということは大前提であり、それら自ら社会的貢献の立場にたつて寄与することで身をもって教育されておられるようでした。交通戦争勃発といわれて久しい昨今、千葉県はいつも交通事故のワーストランキングの上位に顔を出している現状、ぜひ私たちも心して取り組まなくてはと思うのでした。

話題は、会社の歴史に移行しました。東栄運送は高橋社長の義父に当たられる方が昭和二十九年に創立され、その後昭和四十二年に社名変更をされて現在に至っているそうです。ご苦労された当時の思い出を懐かしそうに語られました。いうまでもありませんが現在の海岸線はほとんどが埋め立てをされた後のもの、その埋立事業にも大きくかわられたそうです。今日の礎はいろいろなかたがたのご苦労の上で成り立っているのだと改めて実感するのです。

と、あいにく今日お会いするはずの当健保の理事を務められている高橋社長がいらっしゃいませんでした。私たちは、アポイントのミスかな？と冷や汗が出たところですが、何が幸いするかわからないもので、同社長の奥さまとしばしお話をすることができました。奥さまは会社の事務も担当されており、企業運営上、大きな責任を背負っておられるように拝見しましたが、私たちに對して明るくざっくばらんに接していただき、（失礼ですが）おらかな素敵な奥さまとお見受けしました。

そんな奥さまとの対話の中で印象に残ったのが、猫の話でした。動物の猫です。こちらの事業所には大きな猫がいつも我が物顔で悠々と闊歩しています。お聞きすれば、以前いた猫は事故に遭って不幸にも他界、その後、新しい猫が同居を始めたとのこと。入浴が大好きという裏付けに毛並みが艶々としていました。こ

の事業所訪問の取材記事の中で動物を取り上げるのは初めてなのですが、私たちは夏目漱石の例の書物を出し猫の目から見た東栄運送ということでは、書かせていただければ、『この家は我が輩にとって大変ありがたい住みかである。みんな親切にかわいがってくれるし、人間様より高待遇をしてくれる、どこで昼寝をしていても誰も文句を言わないし、食べ物十分、だから我が輩は少々肥満気味、大好きなお風呂だって人間なみさ……。』というところでしょうか。つまり私たちが取材にうかがって最初に感じたこと、それは自分の故郷にあるような温もりでした。人に対して動物に對してもそのスタンスは変わらない、そんな人間味あふれる事業所でした。

● 社会的貢献の立場にたつて 交通安全義務を遵守

そうこうしているうちに同社の高橋社長が戻ってこれれ同席していただきました。先にも書いたとおり氏は健康保険組合の理事をはじめ、我が母体千葉県トラック協会の副会長等いろいろと要職を務められており、この年末においては多忙を極め

● 社長は毎日五時起床で 車庫を点検

取材時間もそろそろリミットとなり最後に高橋社長の健康法等についてお聞きすると、『特に趣味もなく健康に気づかっていることはない』と謙遜されましたが、『あえて言えば早寝早起き』とおっしゃられました。氏は毎日五時に起床され早朝から同社の車庫を点検することを日課としておられるそうです。口で言うのは

簡単ですが、毎日実行されることの意志の強さに私たちは敬服しました。お見受けすると氏は見るからに健康体、主治医にも太鼓判を押されるほど悪いところがないとのこと、徳川時代は、人生三五年といわれていたとお聞きしましたが、人生八〇年といわれる今般、ますます健康に留意されて、千葉のリーダー的存在としてイニシアチブを取り続けていたのだと祈念しつつ今日の取材を終えました。



ることはいうまでもありません。そんな中で取材にに応じていただいたわけであり、私たちは恐縮しながらも例によって組合の近況をご報告申し上げ対談が始まりました。

話題はまず景気問題についてでありました。バブル崩壊後長引く景気の低迷の中、その原因の根本は金融の歪みにあると指摘されました。スムーズに貨幣の流通が行われないと景気の回復は望めない、それを改善するための施策を講じなければ回復は望めないとのこと、また、景気は一五年周期で推移しているとおっしゃられ、当分低迷期は続くだろう

取材にご協力いただきありがとうございます。ありがとうございました。

師走というのは世の中が忙しく動き回っているというイメージがあります。今年心なしか車の量が少ないように感じられます。私たちの錯覚だといいますが……。一九九四年が皆さんにとってすてきな年でありますように……合掌。